

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

地元でお世話になって60年

赤とんぼが棲めるきれいなまちづくり



大村商事株式会社

《理念》

私たちは、地域社会の環境美化の向上に努めます。
私たちは、地域社会から歓迎される存在であり続けます。
私たちは、立派な社会人として成長を続けます。

《行動指針》

わたくしは、活力のある明るい職場をつくります。
わたくしは、常に変化に対応し、考え、実行し、成長を続けます。
わたくしは、積極的に自己啓発を進めます。
わたくしは、社会と会社に対する役割を自覚し、その責任を果します。
わたくしは、情熱と熱意をもって全力で仕事に取り組みます。

《ごあいさつ》

私たちは廃棄物処理業者としての高い誇りを持ち、廃棄物の適正処理・リサイクルを基本とし、地域の環境美化と、エコロジーとエコミーが両立した「サーキュラーエコミー(循環型経済)※」をつくって参ります。このような“目に見える価値”に加え、お客様や他の社員から「あなたがいて良かった」と感謝される“目に見えない価値”をさらに大切にし、信頼される存在であり続けたいと思います。これら2つの価値を具現化したものが当社の理念です。

1つ目の「地域の環境美化の向上に努める」とは、リデュース(ごみを減らす)・リユース(同じ物として再び使う)・リサイクル(違う形にして再び使う)の3Rを推進することです。
2つ目の「地域社会(市民)から歓迎される存在であり続けます」とは、社員の仕事や人柄に対して、市民から高い信頼・好感が得られるよう努めることです。
3つ目の「立派な社会人として成長を続けます」とは、プロとしての技術と人格を高め、どんな課題に対しても「自分に出来ることは何か」を考え行動できる主体性と、1+1が3以上になるチームワークが生まれるコミュニケーション能力の育成を意味しています。

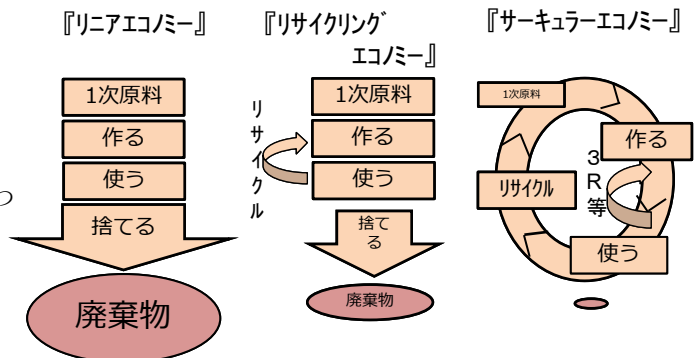
この地域(埼玉県志木市・朝霞市・新座市・富士見市・和光市)は、現在も人口が微増し続けており、人口密度が非常に高いまちです。その中で、生物多様性が機能する自然環境と、快適で衛生的な都市生活環境の両立、すなわち「サーキュラーエコミー(循環型経済)」が成り立つまちになるためにも、私たちはSDGsを通してこの地に根を張り、一人一人の主体性とチームワークを発揮し、お客様や地域の皆様、社会から「あなたがいて良かった」と思われるよう、全力で仕事に精進して参ります。
“赤とんぼが棲めるきれいな町づくり”

代表取締役 大村相哲



～「サーキュラーエコミー(循環型経済)」とは?～

昭和後期の日本は、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済『リニアエコミー(直線型経済)』でした。平成になると、各種廃棄物のリサイクルが推進された『リサイクリングエコミー(資源再利用型経済)』に変わりました。そして令和の時代は「環境と経済の利益を一致」させた経済『サーキュラーエコミー(循環型経済)』が(欧米諸国から世界各国に)提唱されてきております。



《業務案内》

【市役所等受託業務】	対象エリア	発注者・お客様
・志木市家庭系一般廃棄物収集運搬業務	志木市	志木市役所（志木市民）
・朝霞市家庭系一般廃棄物収集運搬業務	朝霞市	朝霞市役所（朝霞市民）
・病院・公共施設・公園管理清掃業務	地域の病院、 公共施設、 公園など	病院事業者、行政、公社等



【事業系廃棄物、リサイクル】	対象エリア	発注者・お客様
・事業系一般廃棄物収集運搬業務	5市※	会社・商店等、を営む 事業者 他
・剪定枝、刈草、落葉等の受入業務	志木市・朝霞市他	
・粗大ごみ（産業廃棄物）収集運搬業務	5市 他	
・食品・草木バイオマス堆肥化リサイクル	志木市・朝霞市他	
・発泡スチロールリサイクル（産業廃棄物）	主に埼玉県内	
・飲料資源リサイクル	5市 他	

※5市（志木市・朝霞市・新座市・富士見市・和光市）



【トイレ、仮設トイレ】	対象エリア	発注者・お客様
・し尿汲み取り、浄化槽維持管理 （清掃、保守点検、法定検査）	志木市・朝霞市	志木市・朝霞市内の 市民、事業者
・仮設トイレレンタルサービス （短期レンタル：7日以内） （長期レンタル：数か月単位）	志木市・朝霞市 新座市・富士見市 和光市 他	イベント主催団体 学校、スポーツクラブ 工事業者、ゴルフ場等



【不用品回収、生前・遺品整理】	対象エリア	発注者・お客様
・不用品・粗大ごみ（一般廃棄物）回収	志木市・朝霞市	市民やそのご家族 マンションオーナー様等
・ブランド品の出張査定、買取り	新座市・富士見市	
・生前整理、遺品整理、合同供養	和光市	



【堆肥、薪】	対象エリア	発注者・お客様
・「土が良くなる堆肥」の販売 (食品・草木バイオマスリサイクル堆肥)	全国	市民、事業者等 全ての対象者
・薪の販売 (焚火、バーベキュー、薪ストーブ等)		



《社会貢献活動》

【食品ロス削減】



食品ロス削減国民運動
ロゴマーク「ろすのん」



食品ロス 政府

検索



食品ロスとは「本来食べられるのに捨てられてしまう食品」のことをいいます。現在日本の食料需給率は40%程度しかなく、その大半を海外からの輸入に頼っているのです。そのような中、一方では食品ロスが発生している現実があります。



当社では、学校給食や社員食堂の生ごみの堆肥化を行っていますが、「堆肥になるから食べ残して良い」わけではなく、「必要な分だけを選び食べる」ということが大切ではないかと思っています。

【SDGs】

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17の目標(ゴール)・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



～SDGsウェディングケーキモデル～

この三段構造のモデルは、土台が「環境」(水・森林・海洋資源・気候変動等)に関する目標となっており、中間に「社会」(貧困・飢餓、健康、教育、街づくり等)最上位に「経済」(働き方、イノベーション・生産・消費等)に関する目標が置かれています。

★は、当社が取り組む目標です。

※当社が目指す 7つの目標(ゴール)・9つのターゲット・具体的な取り組み



2.4:2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱(レジリエント)な農業を実践する。

- ・食品ロス削減をはじめ、当社の「土が良くなる堆肥」を通じた農業の発展、6次産業化の推進、食の安全等に貢献いたします。



3.6:2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
 ・社内の安全運転・安心作業を徹底するだけでなく、地域の各種交通安全活動にも積極的に協力して参ります。



4.6:2030年までに、全ての若者及び大多数(男女ともに)の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする。
 ・まずは社員が主体的に自己啓発ができる環境をつくり、市民への出前講座やインターンシップ、職業体験等を積極的に行います。



6.2:2030年までに、全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女児、並びに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。

6.3:2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。

- ・浄化槽の適正維持の推進、清潔で使いやすい仮設トイレの設置等を積極的に行い、屋外での排泄を無くし、衛生的な環境を提供します。



12.3:2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

12.5:2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

- ・食品・木質系バイオマスのリサイクルや食品ロス活動等をバージョンアップし、「エコノミーとエコロジー」が両立・持続可能な仕組みである「サーキュラーエコノミー(循環型経済)」をつくります。



14.1:2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。

- ・プラスチックごみの各種課題に真剣に向き合い、当社が出来る方法を考え実行するだけでなく、河川周辺や地域の清掃活動に積極的に参加します。



15.3:2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。

- ・行政の環境基本計画・緑の基本計画等の応援、地域の緑被率の回復、林業の促進等の活動を応援し、社内から地域、そして社会の生物多様性が機能する自然環境を創造して参ります。





《会社沿革(HISTORY)》

和暦	西暦	出来事
昭和33年	1958年	3月23日大村政生社長創業 会社名：足立清掃 北足立郡足立町（現在の志木市柏町）し尿汲み取り業
昭和44年	1969年	大村安男第二代社長就任 足立清掃から大村商事に名称変更
昭和51年	1976年	4月 志木市より危険物収集運搬業務を受託
昭和53年	1978年	3月22日 大村商事は大村商事株式会社に法人化 志木市下宗岡2-18-20に本社移転
昭和54年	1979年	志木市より可燃ごみ収集運搬業務を受託
昭和56年	1981年	志木市・朝霞市・新座市・富士見市一般廃棄物収集運搬許可取得 (事業系ごみ・家庭系粗大ごみ)
平成3年	1991年	埼玉県産業廃棄物収集運搬許可取得
平成4年	1992年	朝霞市より可燃ごみ収集運搬業務を受託
平成7年	1995年	和光市一般廃棄物収集運搬許可取得 (事業系ごみ・家庭系粗大ごみ)
平成11年	1999年	朝霞支社設立 朝霞市上内間木713-8
平成12年	2000年	食品・木質バイオマスリサイクル事業開始 志木市・朝霞市より一般廃棄物処分業許可取得（生ごみ・剪定枝・刈草等）
平成17年	2005年	10月 朝霞市より資源・不燃ごみ収集運搬業務を受託
平成19年	2007年	埼玉県産業廃棄物処分業（発泡スチロール）許可取得
平成20年	2008年	エコアクション21認証・登録
平成21年	2009年	大村相哲第三代社長就任 大村安男会長就任 朝霞支社にて廃棄物再生事業者登録（金属くず・空き瓶）
平成22年	2010年	埼玉県特別管理産業廃棄物収集運搬許可取得
平成30年	2018年	3月23日 創業60年を迎える

《会社概要》

会社名	大村商事株式会社
代表者	代表取締役 大村 相哲
創業	昭和33(西暦1958)年3月23日
資本金	1,000万円
従業員数	約140名
資格者	リサイクルマスター3級・浄化槽管理士・大型1種・運行管理者・整備管理者 小型移動式クレーン・移動式クレーン・天井走行クレーン・フォークリフト ショベルローダ・小型車両系建設機械・牽引1種・玉かけ・車両系建設機械 甲種防火管理者・危険物乙種4類・危険物丙種 普通救急・第二種酸素欠乏危険作業
車両数	約90台(パッカー車、ダンプ車、アームロール車、バキューム車、ユニック車、平ボディ等)
重機類	約10台(パワーショベル、バケット、ホイールローダー、フォークリフト、破碎機等)
許可等	<埼玉県> 産業廃棄物収集運搬業許可(13種類)／産業廃棄物処分業許可／廃棄物再生事業者登録／ 浄化槽保守点検登録／特殊肥料生産業者届出／肥料販売業務開始届出／地域防災サポ- ト企業・事業所登録 第21-1277号／／埼玉県公安委員会 古物商許可 第431040022601号 <市町村> 志木市:一般廃棄物処理業許可 収集運搬、処分(生ごみ・剪定枝葉木・刈草等可燃物) し尿処理業許可、浄化槽清掃業許可(一部事務組合) 朝霞市:一般廃棄物処理業許可 収集運搬、処分(破碎・堆肥化に限る) し尿処理業許可、浄化槽清掃業許可(一部事務組合) 新座市:一般廃棄物処理業許可 収集運搬 和光市:一般廃棄物処理業許可 収集運搬 富士見市:一般廃棄物処理業許可 収集運搬 所沢市:一般廃棄物収集運搬業許可 特定家庭用機器廃棄物
加盟団体	特定非営利活動法人 日本樹木リサイクル協会 一般社団法人 全国食品リサイクル連合会 一般社団法人 埼玉県経営者協会 一般社団法人 埼玉県環境産業振興協会 特定非営利活動法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 公益社団法人朝霞法人会 朝霞地区安全運転管理者協会 朝霞地区四市廃棄物処理協会 志木市・朝霞市・和光市商工会 他



本社
〒353-0003
埼玉県志木市下宗岡2-18-20
フリーダイヤル:0120-538-113
TEL:048-472-0328
FAX:048-487-1888
mail:ohmura@bashil.ocn.ne.jp



朝霞支社
〒351-0001
埼玉県朝霞市上内間木713-8

代表ホームページ
<https://ohmura.info/>

遺品・生前整理ホームページ
<https://ihinseiri-saitama.jp/>

フェイスブック

